

# 土地境界図作成方法

2018. 3

町田市道路部道路管理課

申請者は、この土地境界図作成方法に基づき、図面を作成し提出してください。  
提出物の内容については**表1**のとおりです。

**表 1. 提出物一覧**

提出物	数量
土地境界図(原図)	1部(用紙は町田市で支給)
土地境界図(原図の複写)	1部(白焼)
土地境界図(確定通知用) <sup>※1</sup>	合意した人数分(白焼)
境界標の写真 <sup>※2</sup>	必要に応じて

※1 確定通知用は、図面の合意欄、作成者欄、決裁欄を消して作成し、A4左綴じで折ってください。

※2 「**2. 境界標の埋設方法**」を参照してください。

お問い合わせ

町田市道路部道路管理課境界係

電 話 042-724-1154 (直通)

042-724-1123 (直通)

# 目 次

<b>1. 作図について</b>	
(1) 図面作成にあたっての基本事項	…… 3
(2) 表題について	…… 4
(3) 凡例について	…… 4
(4) 作成者欄について	…… 4
(5) 座標一覧表について	…… 5
(6) 決裁欄について	…… 6
<b>2. 境界標の埋設方法</b>	…… 7
<b>3. 合意欄について</b>	
(1) 合意欄の書式	…… 10
(2) 記入にあたって	…… 10
(3) 特殊な記入例	…… 10
(4) 図面内に署名・押印することが困難な場合の取り扱いについて	…… 12
<b>4. 土地境界図(原図)の訂正方法</b>	
(1) 座標値、境界辺長、承諾地番の訂正について	…… 13
(2) 方位、凡例、表題、作成者欄の訂正について	…… 13
(3) 合意欄の訂正について	…… 14
<b>作成例</b>	<b>別紙</b>

# 1. 作図について

## (1) 図面作成にあたっての基本事項

下記12項目が作図にあたっての基本事項になります。下記12項目と作成例に基づいて作図を行ってください。

- 1 **用紙・サイズ** 町田市で支給する用紙を用い、原則としてサイズは JIS A 2, A 3 とします。
- 2 **縮 尺** 1/250 とします。
- 3 **座 標 値** 座標値は m (メートル) 単位とし、小数点以下第 4 位を四捨五入して第 3 位まで表示してください。また、境界点・引照点・機械点とも一覧表にして図面に記入してください。
- 4 **寸 法・数 字** 確定する境界辺長は、単位 m をつけ民地側に記入してください。境界辺長は、座標値より得た値の第 3 位を切り捨てて第 2 位まで表示してください。また、字の大きさは 2.0 ~ 2.5mm とし又、境界線は 0.2mm とします。  
(例：5.9999→5<sup>m</sup>99、6.0099→6<sup>m</sup>00)
- 5 **点 番 号** 確定境界点は P、引照点は S、機械点は T でそれぞれ通し番号をつけ、点は一重丸で統一し、径は約 1.5mm とします。
- 6 **引 照 点** 引照点は、公共用地の既確定点及び道路台帳図の区域点とし、確定境界点の 1 ~ 2 点先まで表示してください。
- 7 **色** すべて黒一色で作図してください。
- 8 **方 位 等** 図面は北を上方とし、方位は北方向に矢印等で示してください。
- 9 **地 番** 町名(字名)が複数存在する場合は、すべての町名(字名)を図中に記入してください。地番は、算用数字を用い境界線に接する地番をすべて記入してください。なお、記入する位置については民地側とし、公共用地側には記入しないこととします。  
公図と現地が異なる場合は、上段に公図上の地番を、下段に合意地番を ( ) で表示してください。
- 10 **作 成 者 名** 作成者は、住所・会社名・電話番号・氏名・資格登録番号・測量年月日(西暦又は和暦)を記入して押印してください。
- 11 **決 裁 欄** 所定の枠に、地区名、確定する境界線及び境界点に接する地番、申請人の名前を記入してください。
- 12 **そ の 他** 図面に描く地物は、できる限り詳細に記入してください。また、壁・柵・側溝等の地物に確定境界線が重なるときは、その部分の地物を省略して描き、幅員寸法線・寸法数字・点番号の場合も地物を省略して描いてください。

## (2) 表題について

土地境界図中央上部に、**図1**のように、表題を作成してください。地番は、確定する境界線に一番長く接する地番を代表地番として記入してください。枠の大きさは特に指定しませんが、**作成例**を参考に、適度な大きさと作成してください。

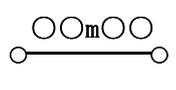
**図1. 表題の詳細**

土地境界図		縮尺
土地所在地番	町田市〇〇町字△△ 88-1ほか	$\frac{1}{250}$

## (3) 凡例について

**図2**のように凡例を作成してください。

**図2. 凡例の詳細**

凡	○ P n	境界点	約 4 cm
	○ S n	引照点	
	○ T n	機械点	
例		境界辺長	

← 約 6.5 cm →

## (4) 作成者欄について

**図3**のように作成者欄を作成してください。枠の大きさは特に指定しませんが、**作成例**を参考に、適度な大きさと作成してください。

測量年月日は、西暦又は和暦で記入してください。立会後に実測した日付を記入してください。

また、土地境界図(原図)を提出するときには、押印してください。

**図3. 作成者欄の詳細**

作成者	住所 会社名 電話番号 氏名 資格登録番号	Ⓜ
	測量年月日	2018年〇月〇日

## (5) 座標一覧表について

図4のように、P点、S点、T点の順に記入してください。測量は、町田市管理の公共基準点(2011年世界測地系)を使用してください。

※近くに公共基準点がない場合は、担当者にご相談ください。

図4. 座標一覧表の詳細

座 標 一 覧 表 (世界測地系2011)

測点	X座標	Y座標	備考
P1	-45501.317	-41310.545	市プレート
P2	-45489.916	-41301.521	市コンクリート杭
⋮	⋮	⋮	⋮
S1	-44,475.946	-41,303.521	市鉄
⋮	⋮	⋮	⋮
T1	-44,95.643	-41,305.737	金属標(W交37)
T2	-45,12.742	-41,671.766	金属標(W交38)
T3	-43,63.196	-41,845.438	金属標(W交39)
⋮	⋮	⋮	⋮

公共基準点使用の場合記入

任意座標の場合は、千、又は百の桁から記入

※ 座標一覧表には備考欄を設け、備考欄内には現地の埋標物を表2のように記入してください。また公共基準点使用の場合は、基準点番号も記入してください。

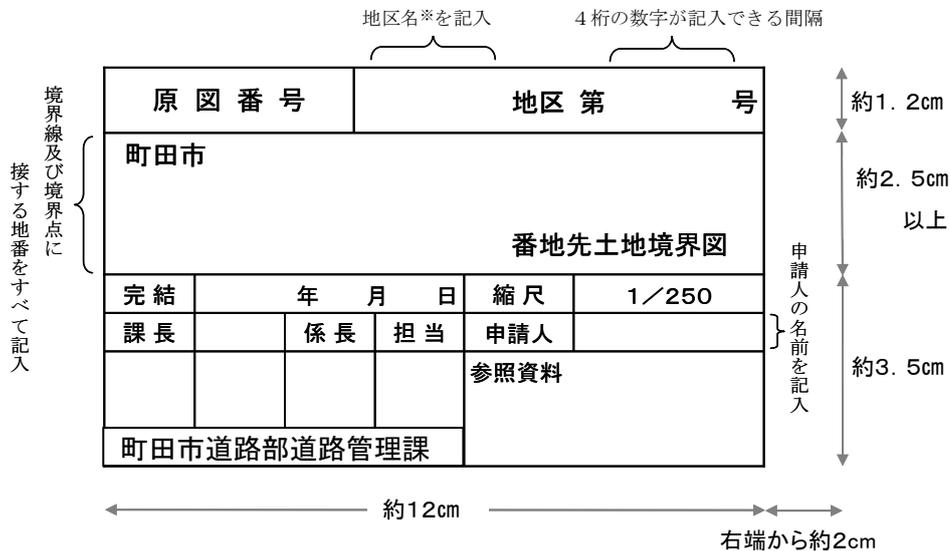
表2. 境界標の記入方法

埋標の種類	記入方法	埋標の種類	記入方法
町田市のコンクリート杭	市コンクリート杭	民間のコンクリート杭	コンクリート杭
町田市のプレート	市プレート	民間のプレート	プレート
町田市の鉄鉄	市鉄	民間の鉄鉄	鉄
町田市の御影石	市石	民間の御影石	石
コンクリート杭上面に町田市の鉄鉄	市鉄	コンクリート杭上面に民間の鉄鉄	コンクリート杭上鉄
町田市のコンクリート杭上面に刻み	市コンクリート杭上刻み	コンクリート杭上面に刻み	コンクリート杭上刻み
東京都の埋標物の場合は、「市」の部分で「都」に代えてください。 他の埋標物については、担当者と協議して決めてください。		プラスチック杭	プラ杭
		木杭	木杭
		刻み	刻み
		ペイント	計算点

## (6) 決裁欄について

決裁欄を作成願います。

図5. 決裁欄の詳細



※ 地区名について、表3の通り記入してください。

表3. 町名と地区名

地区名	町名一覧
堺 地区	相原町、小山町、小山ヶ丘丁目
忠生地区	上小山田町、下小山田町、小山田桜台丁目、常盤町、矢部町、根岸町、根岸丁目、函師町、忠生丁目、木曽町、木曽西丁目、木曽東丁目、山崎町、山崎丁目
鶴川地区	小野路町、真光寺町、真光寺丁目、広袴町、広袴丁目、野津田町、大蔵町、薬師台丁目、能ヶ谷町、能ヶ谷丁目、三輪町、三輪緑山丁目、鶴川丁目、金井町、金井丁目
町田地区	本町田、玉川学園丁目、旭町丁目、森野丁目、中町丁目、原町田丁目、南大谷
南 地区	東玉川学園丁目、成瀬台丁目、高ヶ坂、高ヶ坂丁目、金森、金森丁目、金森東丁目、成瀬、成瀬丁目、西成瀬丁目、成瀬が丘丁目、南成瀬丁目、小川、小川丁目、つくし野丁目、南つくし野丁目、鶴間、鶴間丁目、南町田丁目

## 2. 境界標の埋設方法

境界標の埋設方法については、次を参考に行ってください。

写真の提出を必要とする場合は、以下のとおりとします。

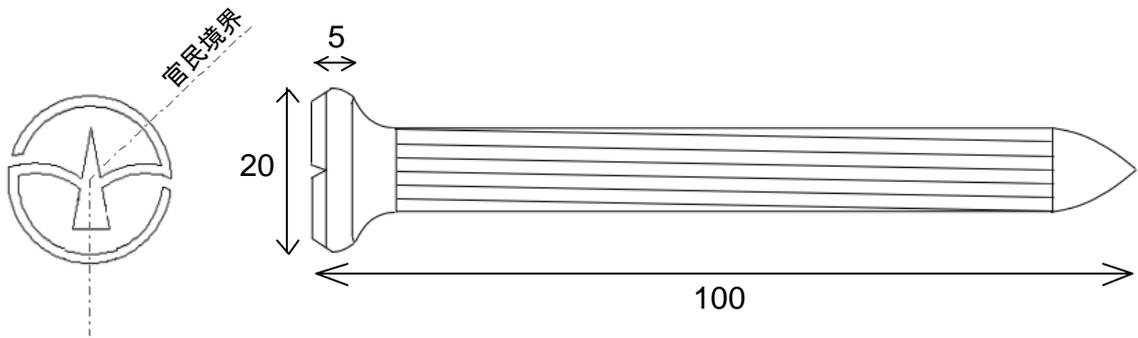
- 1) 構造物との関係で町田市有地側からの埋設が困難で、民地側から境界標を埋設する場合。
- 2) 道路構造物と境界が一致しない場合。
- 3) 構造物で境界標が見えにくくなる場合。

新規の境界標を民地から埋標する場合は、同意書を作成してください。

**図6. 境界標**

[単位：mm（ミリメートル）]

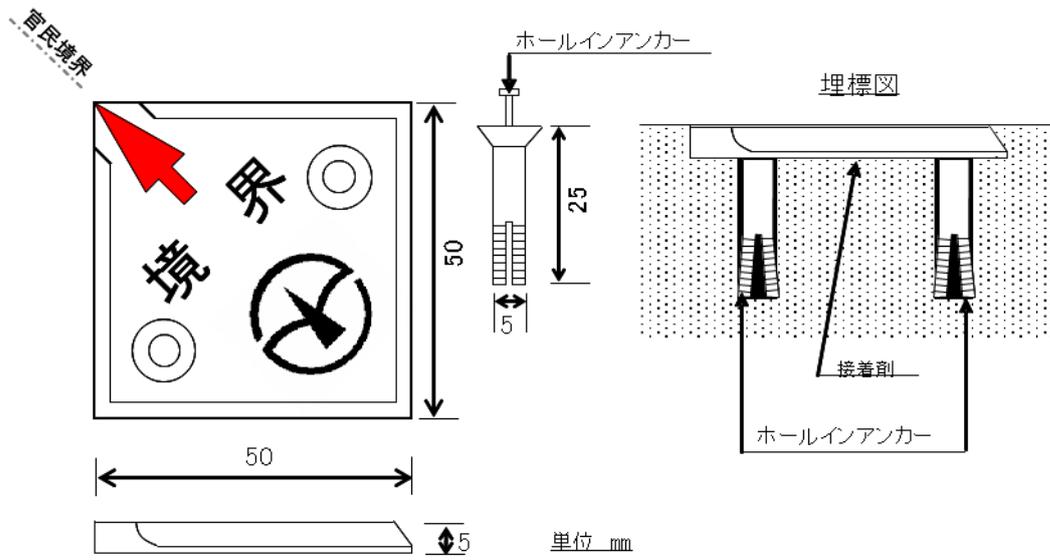
(町田市鋳)



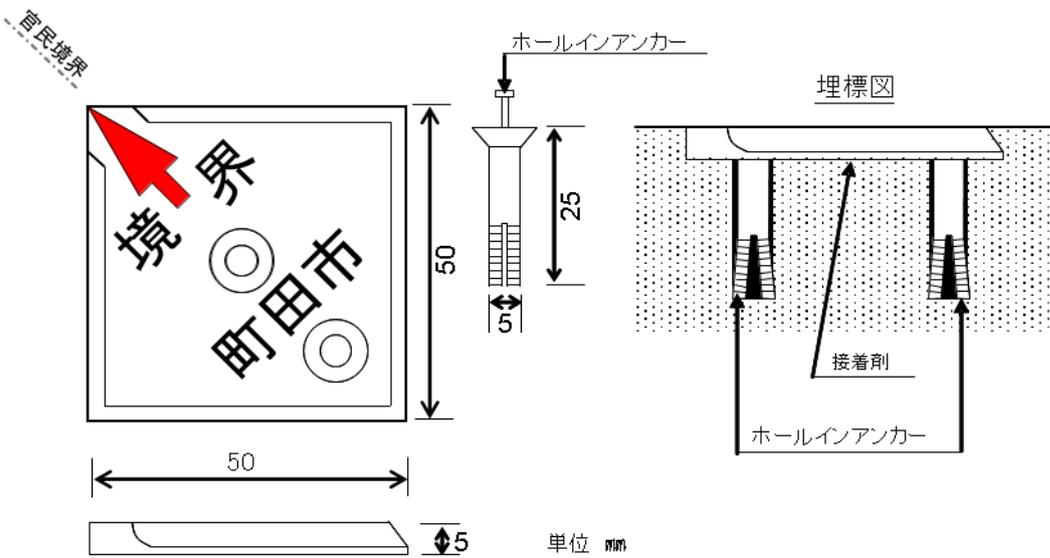
(町田市コンクリート杭)



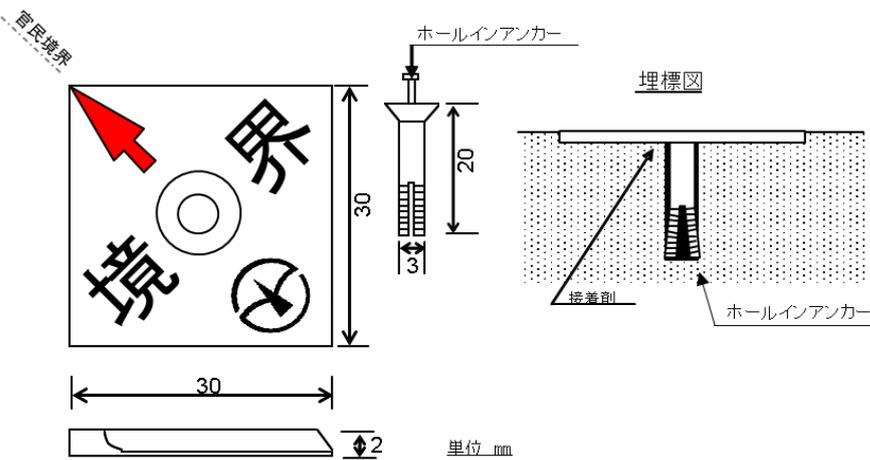
(町田市A型プレート・アルミ製)



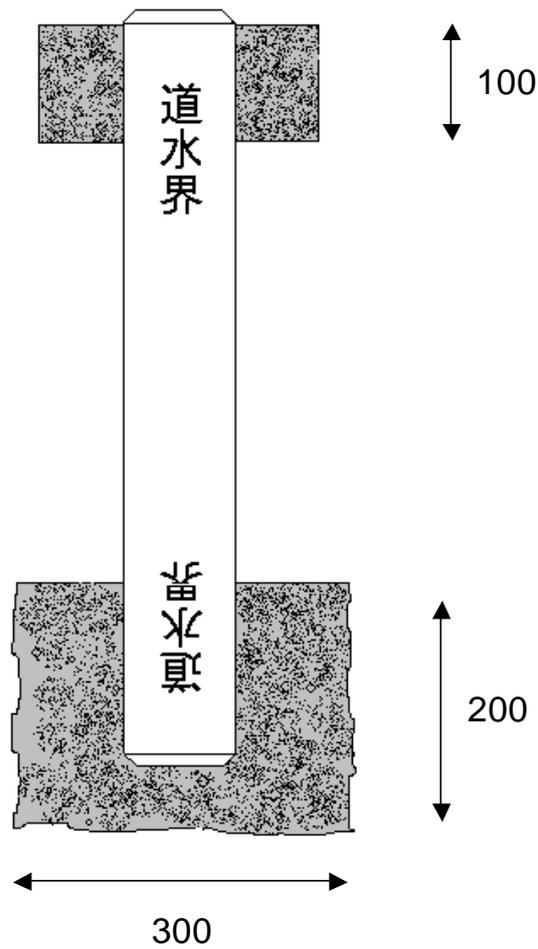
(町田市B型プレート・アルミ製)



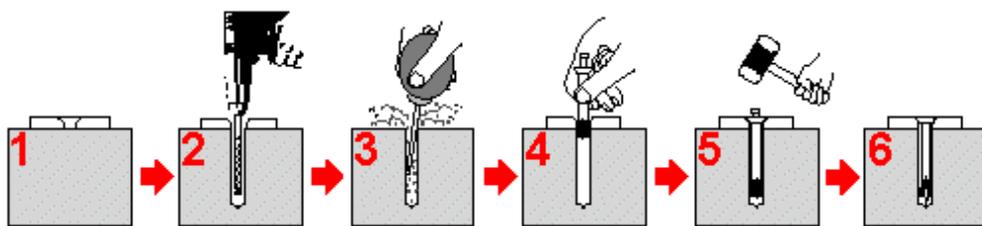
(町田市C型プレート・アルミ製)



(設置例)



(設置例)



1. プレートをポイントに合わせて、接着剤で貼り付ける。
2. プレートのアンカーピン穴に合わせてハンマードリルで下穴を開ける。
3. 下穴の粉じんをスポイトで吹き飛ばす。
4. アンカーピンを差し込む。
5. アンカーピンの突起部をハンマーで打ち込む。
6. アンカーピンが設置基盤内で広がり抜けを防止します。設置完了。

### 3. 合意欄について

#### (1) 合意欄の書式

図7のように合意欄を作成してください。枠の大きさは特に指定しませんが、**作成例**を参考に、適度な大きさに作成してください。枠は、合意した人数分を作成してください。

**図7. 合意欄の詳細**

私所有の下記土地と隣接する町田市有地との境界について本境界図のとおり合意する。			
立会場所・土地の地番	土地所有者 住所 氏名 印	立会年月日	合意年月日
		〇〇〇〇年 〇月〇日	〇〇〇〇年 〇月〇日

\* 立会年月日、合意年月日は西暦又は和暦で記入してください。

#### (2) 記入にあたって

申請者及び関係土地所有者は、土地の地番、住所、氏名、立会年月日、合意年月日を記入し、押印（ただし、申請者は印鑑登録印とする。）してください。

立会場所・土地の地番及び立会年月日の「年月日文字」、合意年月日の「年月日文字」が不動文字であっても許容範囲とします。ただし、住所・氏名及び立会年月日・合意年月日の数字は自署とします。

なお、立会場所・土地の地番の欄に「同上」、「〃」等の記載は認めません。

また、記名はボールペン等で記入し、官公庁・法人等に限定してゴム印を可とします。

#### (3) 特殊な記入例

図8～図13に、合意欄の特殊な記入例を示します。記入例に該当しない場合は、担当者と協議してください。

**図8. 代理人の場合**

私所有の下記土地と隣接する町田市有地との境界について本境界図のとおり合意する。			
立会場所・土地の地番	土地所有者 住所 氏名 印	立会年月日	合意年月日
町田市〇〇町字△△123	北海道札幌市〇〇町〇〇番地 つくし野 △ 子 上記代理人 町田市中町××番地 小山ヶ丘 ○ 男 印	2018年 〇月〇日	2018年 〇月〇日

### 図9. 立会後に土地所有者の所有権移転があった場合

私所有の下記土地と隣接する町田市有地との境界について本境界図のとおり合意する。			
立会場所・土地の地番	土地所有者 住所 氏名 印	立会年月日	合意年月日
町田市〇〇町字△△123	町田市□□町9-8-7 町田 ○ 男 (印)	2018年 2月5日	- - - -年 - 月 - 日
町田市〇〇町字△△123	相模原市××町3456 東京 △ 郎 (印)	- - - -年 - 月 - 日	2018年 3月1日

### 図10. 相続の場合

私所有の下記土地と隣接する町田市有地との境界について本境界図のとおり合意する。			
立会場所・土地の地番	土地所有者 住所 氏名 印	立会年月日	合意年月日
町田市〇〇町字△△123	被相続人 町田 △子 相続人 町田市△△町××-×× 東京 ○ 郎 (印)	2018年 2月5日	2018年 3月1日

※ 相続人が複数の場合は、人数分の欄を作成し記入してください。

### 図11. 墓地の相続の場合(相続人を特定することが困難な場合)

私所有の下記土地と隣接する町田市有地との境界について本境界図のとおり合意する。			
立会場所・土地の地番	土地所有者 住所 氏名 印	立会年月日	合意年月日
町田市〇〇町字△△123	町田 △子※1 町田市△△町××-×× 祭祀承継者※2 東京 ○ 郎 (印)	2018年 2月5日	2018年 3月1日

※1 『町田 △子』の部分については、土地所有者を記入してください。

※2 祭祀承継者とは、相続人を代表して墓地を管理している者を言います。

**図12. 土地所有者が未成年の場合**

私所有の下記土地と隣接する町田市有地との境界について本境界図のとおり合意する。			
立会場所・土地の地番	土地所有者 住所 氏名 印	立会年月日	合意年月日
町田市〇〇町字△△123	町田市△△町××-×× 町田 〇郎 印 親権者 町田市〇〇町□□-□□ 町田 △子 印	2018年 2月5日	2018年 3月5日

**図13. 成年後見人が選任されている場合**

私所有の下記土地と隣接する町田市有地との境界について本境界図のとおり合意する。			
立会場所・土地の地番	土地所有者 住所 氏名 印	立会年月日	合意年月日
町田市〇〇町字△△123	町田市△△町××-×× 町田 〇郎 成年後見人 町田市〇〇町□□-□□ 町田 △子 印	2018年 2月5日	2018年 3月5日

※保佐人、補助人は成年後見人に準じて署名・捺印を行う。

**(4) 図面内に署名・押印することが困難な場合の取り扱いについて**

次に該当する事例については、「合意書」をもって記名・押印に代えることを可とします。その他特別な事情の場合は、担当者と協議して下さい。

- ・遠隔地によるとき。
- ・共有する関係土地所有者が多数によるとき。

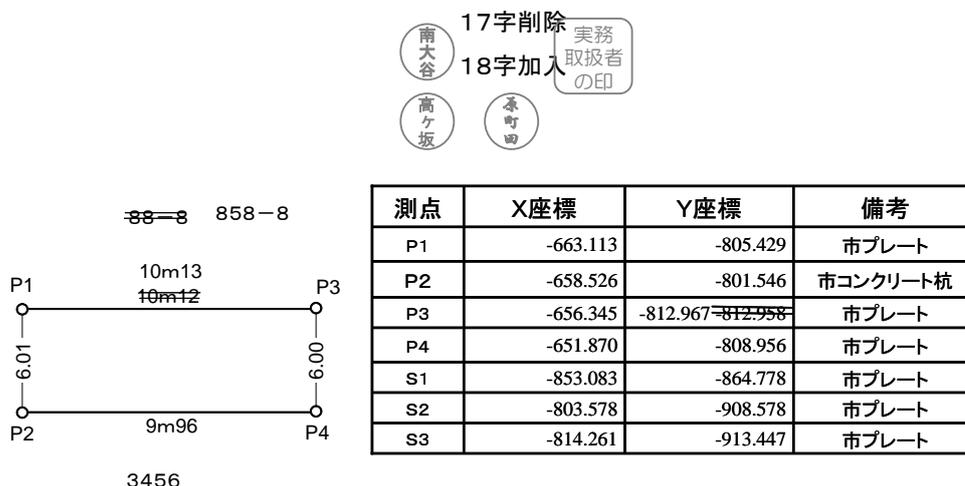
## 4. 土地境界図(原図)の訂正方法

図面に訂正が必要になった場合は、以下のように訂正してください。なお、どの訂正例に関しても、土地境界図の訂正については、消しゴム・修正液等の使用は認めません。

### (1) 座標値、境界辺長、承諾地番の訂正について

座標値、境界辺長、承諾地番等の訂正は、**図14**のように、訂正する字句に2本線を引き、その上側又は右側に正しい字句を加入した上、土地境界図の余白部分に何字削除、何字加入を記載し、関係者全員の押印（合意した時の印鑑）により訂正してください。

**図14. 土地境界図(原図)の訂正例(座標値、境界辺長、承諾地番)**



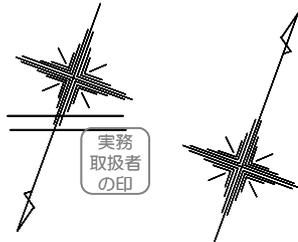
### (2) 方位、凡例、表題、作成者欄の訂正について

方位、凡例、表題、作成者欄の訂正は、**図15**のように、訂正する字句に2本線を引き、作成者（実務取扱者）の印を押印した上で、その上側又は右側に正しい字句を加入することにより訂正してください。

図15. 土地境界図(原図)の訂正例(方位、凡例、表題、作成者欄)

土地境界図		縮尺
土地所在地番	町田市〇〇町字△△ <del>77-2</del> ほか 88-1	$\frac{1}{250}$

実務  
取扱者  
の印



作成者	住所	町田市森野2-2-22
	会社名	〇〇測量設計有限公司
	電話番号	042-724-XXXX
	氏名	〇〇 〇〇
	資格登録番号	登録XXXX号
測量年月日	2018年2月14日	

実務  
取扱者  
の印

実務  
取扱者  
の印

凡例	○ P n	境界点
	○ S n	引照点
	○ T n	機械点
例	〇〇m〇〇	境界 <del>長さ</del> 辺長

実務  
取扱者  
の印

### (3) 合意欄の訂正について

合意欄内の訂正は、図16のように、削除する字句に2本線を引き、訂正箇所<sup>1</sup>に土地所有者の押印（合意した時の印鑑）をしたうえで、その上側又は右側に正しい字句を加入し訂正してください。

図16. 土地境界図(原図)の訂正例(合意欄)

私所有の下記土地と隣接する町田市有地との境界について本境界図のとおり合意する。			
立会場所・土地の地番	土地所有者 住所 氏名 印	立会年月日	合意年月日
町田市〇〇町字△△121	町田市〇〇町121 南大谷 〇 郎	2018年 2月5日	2018年 3月1日
町田市〇〇町字△△122	町田市〇△町5555 高ヶ坂 △ 子	2018年 2月5日	2018年 3月1日
町田市〇〇町字△△ <del>123</del>	町田市〇〇町88-1 原町田 〇 郎	2018年 2月5日	2018年 3月1日